

標準仕様書の先端技術ツールの定義

学習用ツール (先端技術)	想定される利用場面
遠隔・オンライン教育	同時双方向で学校同士をつないだ合同授業の実施や、専門家等の活用
デジタル教科書・教材	これまで紙によって提供されてきた教科書や教材がデジタル化され、大型提示装置やタブレット端末等で活用できるようになる。 また、動画やアニメーション等のデジタル環境ならではの多様な表現により効果的な学習が可能となる
協働学習支援ツール	協働学習支援ツールとは、児童生徒の端末と教師の端末・電子黒板等を連携し、文書・画像ファイル等の教材・課題の一斉配付のほか、画面共有・制御等を行うことにより、個々の児童生徒の考えをリアルタイムで教師と児童生徒間、児童生徒同士、学級全体で共有することを可能とするものである
AR・VR	AR については、現実世界に様々な情報が付加され、リアルタイムで提供されることで、児童生徒が興味を引いたものに対してすぐに必要な情報が提供されるなど、調べ学習等に効果的に活用されることが想定される。 VR については、通常では経験できないことを疑似体験させることで、言葉や映像を通じた指導だけよりも、現実感をもった経験をすることでより効果的な学びを得ることができる。
AI を活用したドリル	AI を活用したドリルは、各自の習熟度や状況に応じた問題を出題・自動採点するものである
センシング	センサ(感知器(マイクも含む。))を用いて、意見交換を行う児童生徒の会話等の情報を計測・数値化し、学びの状況の分析に活用する